

<執筆要領> (2016年7月4日改訂)

「カウンセリング研究」に論文の掲載を希望する場合は、編集規定(別ファイル)とこの執筆要領に則して論文を作成し、投稿論文に必要な事項(2項参照)と原稿(3項参照)を以下の web ページ (<http://www.jacs1967.jp/research/>) を参照の上、次の web ページ (<https://www.editorialmanager.com/counsel/>) から所定の手続きを経て投稿すること。条件を満たしていない場合には、審査できず、返送することがあるので、注意して作成すること。

- 1.論文の区分(原著, 資料, ケース研究, 展望, ケース報告)を選択すること。審査は区分ごとに行われる。区分の目安は以下のとおりである。
 - (1)原著欄にはカウンセリングおよびその隣接領域に関するオリジナルでかつ実証的または理論的な研究論文を掲載する。
 - (2) 資料欄にはカウンセリングおよびその隣接領域に関する萌芽的研究や内外諸研究の追試的検討, またカウンセリングの技法, 理論, 制度などに関する新しい提案などを報告する論文を掲載する。
 - (3) ケース研究欄にはカウンセリングの理論・技法などの発展や人間理解の深化に寄与するような独自の工夫を伴った事例研究を掲載する。
 - (4) 展望欄にはカウンセリングの最近の重要な課題について, 内外の諸研究を広く検討し, その研究状況, 主要成果, 問題点などを総合的に解説する論文を掲載する。
 - (5) ケース報告欄には, 個人・グループ・機関の問題を解決する上でカウンセリングがどのように活用されたか, その実証性を客観的に記載した報告論文を掲載する。
- 2.web ページ (<https://www.editorialmanager.com/counsel/>) から投稿論文に必要な事項を記載すること。
- 3.原稿は著者を特定できる氏名・所属と謝辞等の記述を削除してワード, エクセルあるいはPDFで作成すること。審査は無記名の原稿によって行われる。
- 4.論文の構成は科学論文の形式に則ること。冒頭の内容目次は省略し, 本文および表・図の重複を極力避け, 簡潔にまとめること。
- 5.原稿は1行24字で30行, 横書きとする。原稿1篇の長さは, 本文, 英文アブストラクト及び要約を含めて33枚以内とする(図表は相当する文字数に換算してこれに含む)。
- 6.論文の要約を500字以内でまとめてつけること。
- 7.原著, 資料, ケース研究, 展望には, 英文標題と英文アブストラクトをつけること。ケース報告には英文標題のみつけること。英文アブストラクトは次の規定によること。
 - (1)熟達した人の英文であるか, その校閲を経ていること。
 - (2)200語以内におさめること。
 - (3)前項の要約とは別に, その日本語訳を添付すること。これは英文校閲の際の参考に供するものであるから, 直訳であること。

- (4)その他英文アブストラクトおよびキーワードの作成に当たっては、心理学研究投稿の手引き 1.10 に従うこと。
- 8.外国人・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際だけ原語を付すこと。
 - 9.数字は算用数字を使用すること。
 - 10.引用文献の作成に当たっては、心理学研究投稿の手引き 1.9 に従うこと。ただし、1.9.3(8)と 1.9.4(3)は除く。
 - 11.図の原稿と写真は明確なものを提出すること。
 - 12.表・図は本文に比して大きな誌面を要するから、その大きさを本文に換算して全頁数のなかに算入すること。
 - 13.表や図の番号は、Table 1(表の上にタイトル記載)、Figure 1(図の下にタイトル記載)のように記入のこと。
 - 14.印刷の体裁は編集委員会に一任すること。
 - 15.英文論文について、次の条項のほかは、編集規定・執筆要領を準用する。
 - (1)本文の長さは 4000 語以内とすること。
 - (2)必ず達意の英文であること。
 - (3)英文アブストラクト(200 語以内)とその日本語訳を必ずつけること。
 - 16.本誌は人間を対象とした研究誌である。したがって、研究対象者の人権を保護した点について明記する(倫理的、法的な観点も、審査の条件となる)。
 - 17.投稿論文の審査結果受理後、半年間返答がなかった場合は、自動的に不採択とする。
 - 18.投稿論文の著作権は、日本カウンセリング学会に帰属する。